



岩手大学 次世代アグリ イノベーション研究センター 一般・高校生向けセミナー

日時

2022年

11月16日(水)

12月16日(金)

17:00～18:00

会場

岩手大学 農学部2階ぽらんホール

【岩手大学総合教育研究棟(生命系)】

【事前申込制】

お申込みフォーム

<https://forms.gle/FoeG7H8XbjpRX5BW6>

QRコードはこちら →



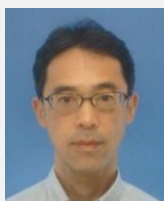
または下記メール

Mail: aic@iwate-u.ac.jp

以下の項目を明記ください

①氏名②所属(学生の方は学校名・学年)③参加方法
(各回定員：対面は50名 オンラインは無制限)

※オンライン配信 (Zoom) も併用します！



11/16(水)第7回担当
食と生活部門 伊藤芳明(農学部准教授)

「演題:食と健康 アブラナ科野菜の機能性成分 イソチオシアネートの健康機能」

アブラナ科の野菜は、日頃、食事の中でよく食べる機会のあるキャベツ、カブ、大根、ブロッコリーが代表的なものです。他にわさびやクレソンなどの香味野菜のようなものもそうです。これらはいずれも辛味を感じさせますが、その成分がイソチオシアネート化合物です。この物質は、私たちの体に抗酸化能や解毒代謝能を惹起させ、毒物から体を保護したり、がん予防効果が期待できることで知られていますが、今回は糖代謝や抗糖尿病効果の例も含めて紹介します。多くの皆様のご来場をお待ちしております。



12/16(金)第8回担当
食と生活部門 高木浩一(理工学部教授)

「演題:静電気を農業・食品に役立てる ～かみなりとキノコの不思議な関係など～」

静電気は、摩擦や高電圧によって生じる電荷やそれらが引き起こすイオンの運動などを示します。静電気は工業ではすでに多く活用されていますが、農業での利用は農薬散布、受粉など一部のみです。今回はまず静電気の性質を紹介します。それがどのように農業・食品分野で利用できるかについて、植物の生長促進(種子の休眠打破、野菜・きのこの生長促進)の事例を紹介します。次に生鮮食品の鮮度保持として水産物の事例を紹介します。最後に、高校生の探究活動の事例、本日お話しした技術を紹介したテレビ番組(あさいち、世界を変える百人の日本人など)をいくつか紹介いたします。

主催
お問い合わせ

岩手大学次世代アグリイノベーション研究センター

E-mail: aic@iwate-u.ac.jp TEL: 019-621-6851 〒020-8550 盛岡市上田3丁目18-33

感染症予防対策のため、マスクの着用、手指消毒、入口での検温等のご協力をお願いいたします。